

からたちハウス企画

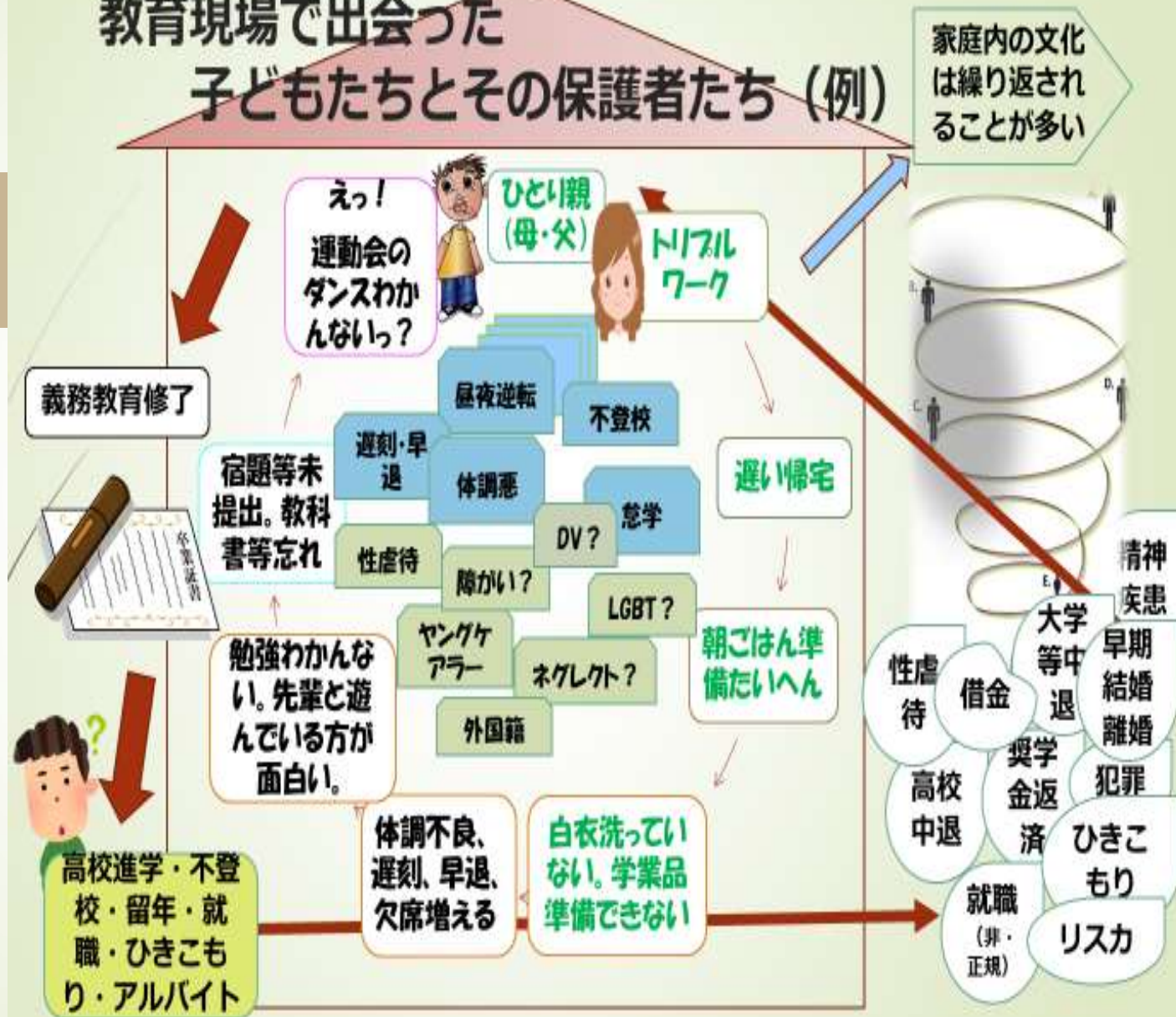
(子どもたちが自ら発つプロジェクト)

地域の中での次世代育成支援
子どもたちの居場所づくり



からたちハウス
代表 窪田清美

教育現場で出会った 子どもたちとその保護者たち (例)



妊婦～子育て～若者～ 包括的な支援体制

厚生労働省
子ども家庭局

内閣府
子ども子育て本部

文部科学省

法務省

警察庁

教育現場で出会った

一番弱い立場の子どもがなぜ苦しむの？

お母(父)さん、頑張っているのに

自分で決めて児童相談所に歩いて行った兄弟がいた。

(準)ひきこもりが増えることを国は憂慮し、生産年齢人口の減少を懸案事項としている。

支援だけでは.....必要なものはお金？学力？環境？

自ら施設入所を選択し、大学入学を叶えた。その力強さは？

子どもたちのために何ができるのか

地域に子どもや保護者を見守れる居場所を作ろう

安全基地であり、秘密基地

自立に必要な力を育てていかなきゃ！

子どもたちに、自分で自分の未来を諦めさせたくない。自ら選択し、自らの力で歩いて行こうと未来作りができる力を蓄える場所が必要なんだ！

「非認知能力」の補充の場

「からたちハウス」開設

2018年7月借家から (2021年3月から公民館)

子どもたちの成長と自立を目指して、ここから発ち、未来をきり拓いてほしい





からたちハウス創設に向けての研鑽、研究等 ～非認知能力の社会的相続の役割を担う居場所を、からたちハウスから～

先行研究①

デンマークの経済学者・政治学者であるアンデルセン教授は、「**社会的相続**は、所得と同等かそれ以上に重要」

「おカネ」
「学力」

[非認知能力]の社会的相続

先行研究②

アメリカの研究プロジェクト「ペリー就学前計画」

学力以外の要因が高校卒業率を高めていることがわかった。
非認知能力である。

※認知能力：
読み書きなどで測定できる知識

国内では



自立する力の伝達行為

信頼・安定感

基礎的な生活習慣

自主性や積極性

勤勉性

意欲・自制心
やり抜く力・社会性

先行研究③

「さまざまな状況において、ある一つの特徴が大きく成功を左右していました。それは、**やり抜く力**

Grit: The power of passion and perseveranceです。」
(ペンシルバニア大学のアンジェラ・リー・ダックワース)

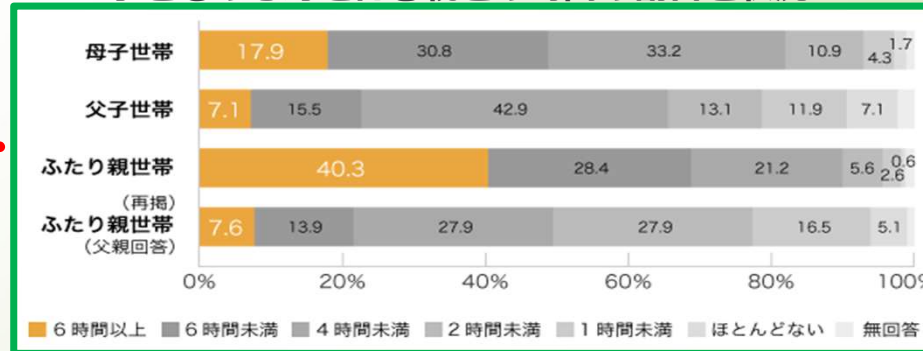
先行研究④

世帯の所得と子供の学力には明確な関連がある

	小6					中3				
	国語A	国語B	算数A	算数B	%	国語A	国語B	数学A	数学B	%
200万円未満	53.0	39.0	67.2	45.7	6.7	69.1	58.6	51.5	30.0	7.5
200万円～300万円	56.8	42.7	70.4	50.8	8.2	71.2	60.9	55.2	33.1	8.6
300万円～400万円	58.4	45.0	73.6	53.3	12.6	73.9	63.4	58.4	35.5	11.8
400万円～500万円	60.6	47.0	75.1	56.2	14.9	74.8	65.2	60.6	37.9	13.3
500万円～600万円	62.7	48.8	77.6	57.9	14.0	76.6	67.6	63.6	40.4	13.7
600万円～700万円	64.8	52.5	80.1	61.3	11.9	77.6	69.2	66.6	43.5	12.1
700万円～800万円	64.9	52.4	79.7	62.2	10.4	78.7	70.9	68.6	46.6	10.2
800万円～900万円	69.6	57.6	83.2	66.0	6.3	79.7	71.8	69.6	48.1	7.0
900万円～1000万円	69.3	55.1	82.7	66.4	5.0	80.9	73.3	71.6	49.9	5.5
1000万円～1200万円	69.6	55.5	83.9	67.9	5.3	81.8	73.9	72.8	52.6	6.0
1200万円～1500万円	70.8	59.4	84.5	67.1	2.6	83.0	75.8	75.1	54.7	2.8
1500万円以上	75.5	61.5	85.6	71.5	2.1	81.8	75.9	73.4	53.4	1.4
合計	62.8	49.5	77.2	58.5	100.0	76.3	67.3	63.5	41.4	100.0

(出典)「子供の貧困に関する新たな指標の開発に向けた調査研究 報告書」(平成29年3月) 内閣府政策統括官(共生社会政策担当)

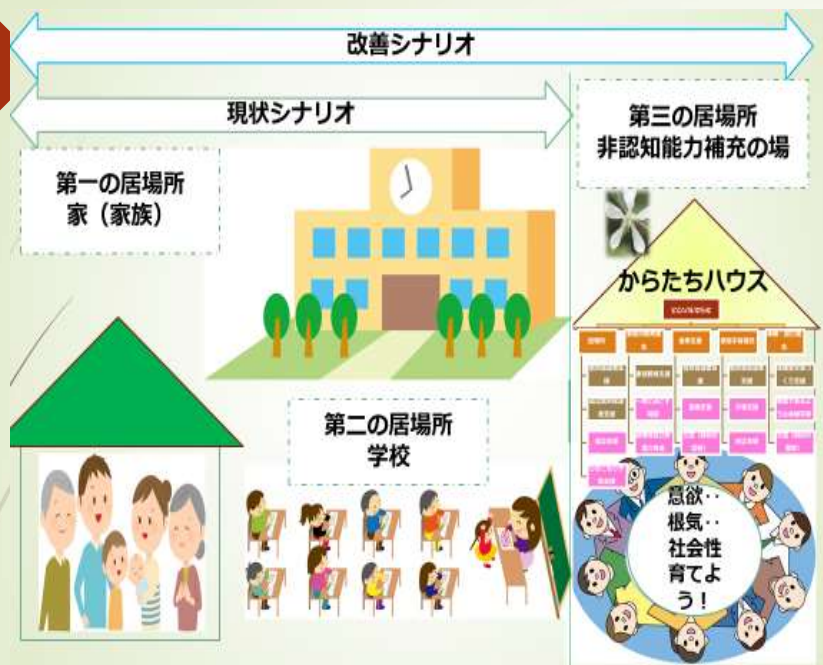
子どもの心身を育む親との時間の割合と状況



文部科学省「2013年度全国学力・学習状況調査」からの分析(PISA2000の分析結果)

	N	平均値	標準偏差	N	平均値	標準偏差
母不在家族	86	486.2	80.6	73	472.5	107.4
父不在家族	424	517.3	82.0	414	500.9	94.2
二親家族	4252	529.2	78.4	2288	528.6	93.4

第三の居場所としての「からたちハウス」



からたちハウスの 将来形態

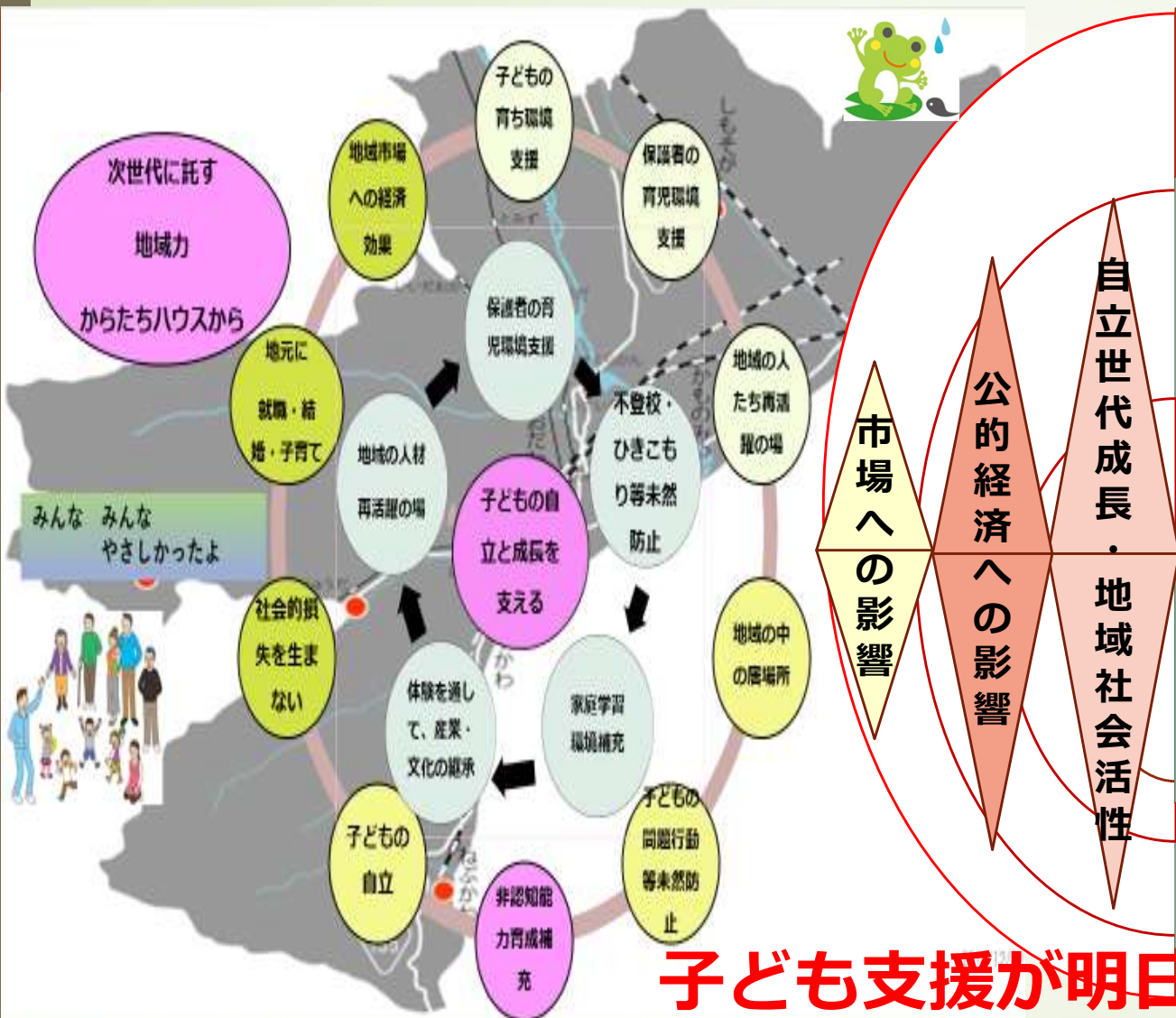
	13時	14時	15時	16時	18時	19時	20時	21時	22時	
1 放課後児童クラブ利用児童の場合					迎 え	食 事	学 習	入 浴	遊 び	迎 え
2 放課後児童クラブ利用しない児童の場合	迎 え	来 所	遊 び	体 験	学 習	食 事	学 習	入 浴	遊 び	迎 え
3 中高生等の場合					来 所	学 習	食 事	遊 び	帰 宅	迎 え
4 不登校児童生徒およびひきこもりの場合	来 所	遊 び	学 習	来 所	学 習	食 事	遊 び	帰 宅	迎 え	

(毎週金曜日)

2018年度	21回
2019年度	44回
2020年度	41回
2021年度	47回
2022年度	50回



からたちハウス企画の期待効果～次世代育成支援対策～



<h2>幼児・児童支援</h2> <ul style="list-style-type: none"> ・諸行動の未然防止（不登校・ひきこもり含） ・家庭学習基礎基本づくり ・非認知能力育成・社会的相続の補充
<h2>中高大生等支援</h2> <ul style="list-style-type: none"> ・未来への希望づくり（確かな学力・生き抜く力（諸行動未然防止支援） ・家庭学習基礎基本づくり ・非認知能力育成支援、社会的相続の補充
<h2>保護者支援</h2> <ul style="list-style-type: none"> ・孤立子育て未然防止 ・児童虐待未然防止 ・就労への活力助成支援
<h2>地域力再生</h2> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人的活力再活躍の場 ・高齢者再活躍の場 ・公的資金（納税・保険料等）の確保 ・地元で就職・結婚・子育て、市場への好影響

子ども支援が明日の地域の基盤になる



今からやろうとしていることは今すぐにはみえないかもしれない。けれども10年後、20年後に見えるだろう。

企業訪問した会長から（2018年）



2023/11/16